

編集後記

前号(17号)公刊から5か月ほど時間が過ぎました。この5か月の間、私(鹿内)は、対面での講演やワークショップに力を注いできました。ようやく、対面での研修会を行えるようになりました。どの研修会場でもたくさんの先生方が熱心に参加してくださっています。どの研修会も、参加する先生方が自ら企画してくださったものです。それだけに、看図アプローチがさらに発展していく手ごたえをしっかりとつかむことができました。

私が全国を駆け回っている間にも、看図アプローチの良さを理解している先生方の、新しい実践は着実に積み重ねられていました。今号でも優れた実践や着想を3編の論文として紹介しています。

第1論文の田中岬は、今回で4本目の投稿になります。田中岬は小学校教員として自分がいたしている役割の中で、看図アプローチを見事に使いこなしています。今回も、特別支援を必要とする子供たちを幸せにする実践例の報告です。

第2論文は、江草千春の実践です。江草は「定時制高校×英語教育」というフィールドで、看図アプローチ実践のフロントランナーになっています。今回も、生徒たちに「難しいけれど面白い」と感じてもらえる看図アプローチ実践を作り上げています。

第3論文は、田中雅美の実践です。田中雅美は「きゅうちゃん」の新しい活用方法を考え出してくれました。「きゅうちゃん」は石田ゆきが考案した、看図アプローチ促進ツールです。「きゅうちゃん」の多くは、これまで「単体」として描かれてきました。田中雅美実践では、背景となる絵図を探してきて、その中に単体として描かれた「きゅうちゃん」を配置する、というアイデアを試しています。このやり方は、これまで誰も行ったことがない、新しい発想に基づいたものです。

看図アプローチを採用すれば、だれでも自分が携わっている領域での実践と研究のフロントランナーになれます。今号掲載の3つの論文とも、フロントランナーになるための手がかりを与えてくれるものばかりです。これをお読みになっている先生方もぜひご自身の実践を論文にまとめて投稿してください。

文責 鹿内信善

————— 全国看図アプローチ研究会研究誌 18 号 ————

発行年月日 2023 年 6 月 27 日

編 集 「全国看図アプローチ研究会研究誌」編集委員

石田 ゆき

伊藤 公紀

織田 千賀子

鹿内 信善 *

山下 雅佳実

渡辺 聰

(* 印は編集代表)



発 行 全国看図アプローチ研究会

kanzu-approach.com

事務局長・編集長・DTP 石田ゆき